Wed. Aug 30, 2023

RY302

ランチョンセミナー③／コトブキシーティング株式会社

12:40 PM - 1:40 PM RY302 (良心館3階 R Y 3 0 2 番教室)

[ランチョン3-1] 体育館で子どもたちが安全に活動するための「仕切り」とは

*木元 幹彦¹、西尾 剛² (1.コトブキシーティング株式会社、2.ミズノ株式会社スポーツ施設サービス運営部 (元・鴨谷体育館・鴨谷野球場・荒山テニスコート支配人))

RY304

ランチョンセミナー①／一般社団法人大学スポーツ協会

司会：池田 敦司 (一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS))
12:40 PM - 1:40 PM RY304 (良心館3階 R Y 3 0 4 番教室)

[ランチョン1-1] 大学スポーツから考える人材育成

*池田 敦司¹、坂田 拡光² (1.一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)、2.株式会社KEIアドバンス)

RY306

ランチョンセミナー②／独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター

12:40 PM - 1:40 PM RY306 (良心館3階 R Y 3 0 6 番教室)

[ランチョン2-1] 国立スポーツ科学センターの支援と研究

*窪 康之¹ (1.国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部)

Luncheon Seminar

ランチオンセミナー③／コトブキシーティング株式会社

Wed. Aug 30, 2023 12:40 PM - 1:40 PM RY302 (良心館3階 R Y 3 0 2 番教室)

[ランチオン3-1] 体育館で子どもたちが安全に活動するための「仕切り」とは

*木元 幹彦¹、西尾 剛² (1. コトブキシーティング株式会社、2. ミズノ株式会社スポーツ施設サービス運営部 (元・鴨谷体育館・鴨谷野球場・荒山テニスコート支配人))

(Wed. Aug 30, 2023 12:40 PM - 1:40 PM RY302)

[ランチョン3-1] 体育館で子どもたちが安全に活動するための「仕切り」とは

*木元 幹彦¹、西尾 剛² (1. コトブキシーティング株式会社、2. ミズノ株式会社スポーツ施設サービス運営部 (元・鴨谷体育館・鴨谷野球場・荒山テニスコート支配人))

日本スポーツ振興財団によると、2018年に体育館で発生した小・中学生の事故のうち、「施設・設備が関連したもの」は381件と報告されている。具体的原因として記載されているものの一つとして、「仕切りネットのたるみで転倒」がある。日本の体育館では、競技コートの「あいだ」は、長らく仕切りネットによって空間が仕切られてきた。仕切りネットは「標準設備」として殆どの体育館で設置されており、その是非について議論されることはなかった。

一方、アメリカではこの仕切りネットに相当するものとして、ディバイディングカーテン (以下DVC) が使われている。DVCは、天井から昇降するシート状の幕で、フロア部分にたわみがない。コトブキシーティングでは、このDVCを2016年から本格的に販売を始めたが、まだ国内での認知度は低い。それでも、実際に採用いただいた施設からは、その安全性、利便性に対して高い評価をいただいている。

本セミナーでは、これから加速度的に普及が期待されるDVC (弊社製品名: SIKIURTO) について、実際に使用している管理者、教職員のインタビューからその有効性を紹介し、体育館を利用する子どもたちが安全に活動できる環境整備の一助となれればと考える。

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー①／一般社団法人大学スポーツ協会

司会：池田 敦司（一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS））

Wed. Aug 30, 2023 12:40 PM - 1:40 PM RY304 (良心館3階R Y 3 0 4 番教室)

共催社名：一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）、株式会社KEIアドバンス

[ランチョン1-1] 大学スポーツから考える人材育成

*池田 敦司¹、坂田 拓光²（1.一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）、2.株式会社KEIアドバンス）

(Wed. Aug 30, 2023 12:40 PM - 1:40 PM RY304)

[ランチョン1-1] 大学スポーツから考える人材育成

*池田 敦司¹、坂田 拡光² (1.一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)、2.株式会社KEIアドバンス)

大学スポーツ協会 (UNIVAS) は、わが国における大学スポーツの振興と社会的価値の増大に向けて2019年3月に創設され、以後4年間、学生アスリート等のデュアルキャリア形成支援事業をはじめ、大学スポーツの安全安心な環境の確立、大学スポーツの認知拡大とブランド価値向上およびDX推進等、数多くの事業を展開している。

とりわけ、学生が大学生活において学業と運動部活動を両立させることや、自身の将来を考えて準備を始めることは、最も重要なテーマのひとつであるが、その実践・実現に向けては、さまざまな課題が存在している。

今回は、特にスポーツ活動を重視した「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」等で大学へ入学した運動部学生を対象として、大学において学修を進めるうえで重要である「学ぶことの必要性の理解」「学びへの動機付け」「学びへの興味喚起」という点を重視し、UNIVASがアカデミックパートナーの河合塾グループ株式会社KEIアドバンスと連携し開発した『運動部学生の学び』をサポートする学習教材の紹介や、その活用事例の紹介などを発表する。

※参加者には運動部学生のレポート指導に活用できる教材の一部を進呈します。

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー②／独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパ フォーマンススポーツセンター

Wed. Aug 30, 2023 12:40 PM - 1:40 PM RY306 (良心館3階R Y 3 0 6 番教室)

共催社名：日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター

[ランチョン2-1] 国立スポーツ科学センターの支援と研究

*窪 康之¹ (1. 国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部)

(Wed. Aug 30, 2023 12:40 PM - 1:40 PM RY306)

[ランチョン2-1] 国立スポーツ科学センターの支援と研究

*窪 康之¹ (1. 国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部)

国立スポーツ科学センター（JISS）では、オリンピック・パラリンピックなどの世界最高峰の競技会で活躍するアスリートの競技力向上を支援している。JISSの支援活動には、様々な領域の研究者と専門家が携わっているが、どのような場合にも、スポーツ科学の研究成果に基づいて活動がなされなければならない。したがって、その基礎となる研究活動も並行して行われる必要がある。

このような考え方についてJISSは開所以来「支援と研究は両輪である」と内外に向けて発信してきた。しかし、現在それを一歩進めて「支援と研究は一体である」と捉え直している。本セミナーでは、この「支援と研究が一体である」という考え方が導かれる途中で生じた、スポーツ科学とはどういうものか、スポーツ科学の研究者がアスリートを支援するとはどういうことかという我々の活動の根本に関わる議論の内容と、その議論に基づいて現在進められている活動の一部を紹介する。そして、ひとりでも多くの方がJISSに興味を持ち、JISSと協働したいと考えていただけたら幸いである。